

千葉市感染症発生動向調査情報

2018年 第16週 (4/16-4/22) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

| 報告のあった定点数 | 16週 | 15週 | 14週 | 13週 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 小児科 | 18 | 18 | 18 | 18 |
| 眼科 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| インフルエンザ | 28 | 28 | 28 | 28 |
| 基幹定点 | 1 | 1 | 1 | 1 |

上段: 患者数
下段: 定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

| 定点 | 感染症名 | 千葉市 | | | | | 千葉県 |
|------|--------------------------|-----|-------------|------------|------------|------------|-------------|
| | | 注意報 | 4/16-4/22 | 4/9-4/15 | 4/2-4/8 | 3/26-4/1 | 4/9-4/15 |
| | | | 16週 | 15週 | 14週 | 13週 | 15週 |
| 小児科 | RSウイルス感染症 | | 3 0.17 | 5 0.28 | 6 0.33 | 2 0.11 | 30 0.23 |
| | 咽頭結膜熱 | | 0 0.00 | 2 0.11 | 1 0.06 | 1 0.06 | 37 0.28 |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | ○ | 49 2.72 | 43 2.39 | 32 1.78 | 30 1.67 | 324 2.44 |
| | 感染性胃腸炎 | | 103 5.72 | 68 3.78 | 79 4.39 | 69 3.83 | 432 3.25 |
| | 水痘 | | 7 0.39 | 12 0.67 | 4 0.22 | 2 0.11 | 49 0.37 |
| | 手足口病 | | 2 0.11 | 1 0.06 | 2 0.11 | 0 0.00 | 5 0.04 |
| | 伝染性紅斑 | | 0 0.00 | 2 0.11 | 0 0.00 | 2 0.11 | 12 0.09 |
| | 突発性発しん | → | 13 0.72 | 13 0.72 | 8 0.44 | 4 0.22 | 60 0.45 |
| | ヘルパンギーナ | | 1 0.06 | 2 0.11 | 2 0.11 | 1 0.06 | 5 0.04 |
| | 流行性耳下腺炎 | | 2 0.11 | 1 0.06 | 1 0.06 | 3 0.17 | 15 0.11 |
| インフル | インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く) | | 31 1.11 | 18 0.64 | 23 0.82 | 42 1.50 | 137 0.65 |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | 流行性角結膜炎 | ○ | 3 0.60 | 1 0.20 | 2 0.40 | 1 0.20 | 14 0.40 |
| 基幹定点 | 細菌性髄膜炎(髄膜炎菌性髄膜炎を除く) | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 2 0.22 |
| | 無菌性髄膜炎 | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | マイコプラズマ肺炎 | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 2 0.22 |
| | クラミジア肺炎(オウム病を除く) | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | 感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る) | | 0 0.00 | 1 1.00 | 0 0.00 | 1 1.00 | 5 0.56 |

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

2 全数報告対象疾患(6件)

| 病名 | 性 | 年齢層 | 診断(検査)方法 | 病名 | 性 | 年齢層 | 診断(検査)方法 |
|----|----|------|-----------|-----|----|-------|-----------|
| 結核 | 男性 | 60歳代 | 病原体の分離同定等 | 梅毒 | 男性 | 30歳代 | 血清抗体の検出 |
| 結核 | 男性 | 70歳代 | 病原体の検出 | 百日咳 | 男性 | 10歳未満 | 病原体遺伝子の検出 |
| 結核 | 男性 | 90歳代 | 病原体の検出 | 百日咳 | 女性 | 10歳代 | 病原体遺伝子の検出 |

・第16週は、結核3件(61)、梅毒1件(8)、百日咳2件(16)の報告があった。

※ ()内は2018年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第16週のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より増加し2.72となった。過去10年の同時期と比べると多め。
<流行性角結膜炎> 前週より増加し0.60となり、過去10年の同時期と比べると最多となった。

■ トピック ■

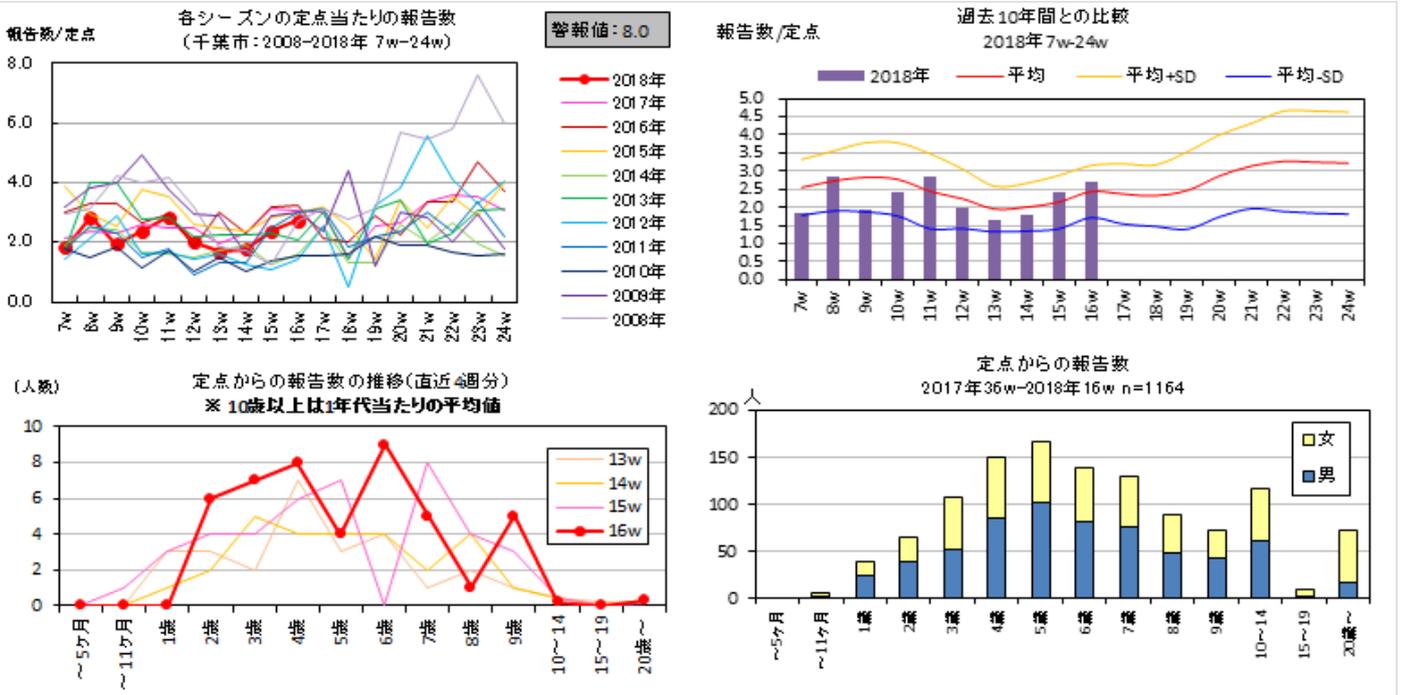
＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

全国レベルの第15週は、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では福井県、鳥取県、新潟県の順で多く報告されています。千葉市は全国レベルと比べるとやや多めとなっています。

千葉市の第16週は前週より増加し2.72となり、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。

区別の発生状況は、緑区(6.5/定点)で最多で、同区の2歳、3歳、6歳で多く発生報告がありました。

今シーズンである2017年第36週から2018年第16週までの累積報告数(n=1164)によると、性別では男性が54.8%(638名)、女性が45.2%(526名)で、年齢階級別では5歳(14.3%:166名)、4歳(12.9%:150名)、6歳(11.9%:139名)の順で多くなっています。



＜流行性角結膜炎＞

全国レベルの第15週は、過去10年の同時期と比べると少ないレベルとなっています。都道府県別では千葉県、福井県及び奈良県の順で多く報告されています。

千葉市の第16週は0.60となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。

区別の発生状況は、美浜区(2.0/定点)で最多で、同区の3歳及び20歳代で発生報告がありました。

2018年第1週から第16週までの累積報告数(n=27)によると、性別では男性が48.1%(13名)、女性が51.9%(14名)で、年齢階級別では6歳、30歳代及び40歳代(共に14.8%:4名)で多くなっています。

